

2023年(令和5年)9月25日(月曜日)



ノーブルエレクトロニクスベトナムの外観



野村 社長

帝国通信工業のベトナム工場、ノーブルエレクトロニクスベトナム

ものづくり最前線



トロニクスベトナムは、ハノイ市の中心から30キロ北西にあるホアラック・ハイテクパークで操業する。帝国通信工業の100%出資で、2006年6月に設立された独資企業だ。敷地面積約2万7000平方メートル、延べ床面積約7000平方メートル。従業員約300人。

「『品質』を第一に、お客様より『信頼』と『ご満足』を得ること」

(野村修社長)を掲げる。行動指針の主な内容として、①コスト競争意識(さらに現場、現物、現状)②省人化、省力化を進め、NOBLE IOTを実現③品質維持のための改善(原因を明確

にし不良が発生しない改善を繰り返す。再発生不良を無くすための構造改善・改良など)④環境改善(廃棄物の削減、リサイクル)、を打ち出す。

独自の方式
独自のセル生産方式と管理方式を導入し、地球環境に対応した材料調

に搭載される。「コロナの前から好調だったが、特に今年に入り、3シフト24時間稼働のフル生産の状況にある」と野村社

にし不良好が発生しない改善を繰り返す。再発生不良を無くすための構造改善・改良などを実施する。

体制の確立を目指す。組み立てや供給などで自動化を図る。

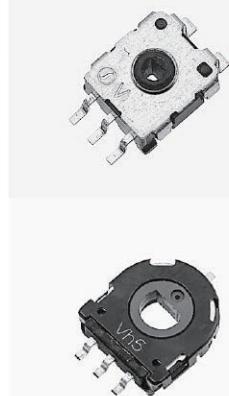
主な生産品目のうち、ロータリーセンサーはゲートマシンのコントローラーに搭載される。「コロナの前から好調だったが、特に今年に入り、3シフト24時間稼働のフル生産の状況にある」と野村社

にし不良好が発生しない改善を繰り返す。再発生不良を無くすための構造改善・改良などを実施する。

ノーブルエレクトロニクスベトナム(ハノイ近郊 ホーチミン市)は、

顧客の信頼と満足めざす

「品質第一」の行動指針掲げる



ロータリーポジションセンサーZRS07PVC(上)と同011PVC

達、生産効率化に配慮した自動化・省人化の生産設備で、一貫生産ライン

長は手応えを話す。また、可変抵抗器はAV機器やミキサーの調整用ボ

ー、半導体不足の影響、またコロナ明けにかけては客先の製品在庫調整などで、生産品目によ

り、成型機や自動組立機など大型設備の投資を予定する。本社のグループ内での生産品目の集約や移転計画に基づき、工場拡張も視野に生産現場のレイアウト変更を実施している。

野村社長は「シンガポールノーブル(販社)と協力し、ベトナムの納入

の要請もあり、BCP(事業継続計画)対応としてグループ内の中国工場の生産の一部製品移管を実施中。年内の量産開始を予定する。

またロータリーセンサーのリニューアルに伴って生産ラインの新設を計画しておおり、大型設備の投資も直近では客先の脱中国へも取り組む。環境面でも、照明の

大型設備の投資も必要となる。日本の本社の開発部隊と連携し、製品開発を行う体制を取り組む。人財育成にも取り組む。

ノーブルエレクトロニクスベトナムの外観



JETRO商談会

の要請もあり、BCP(事業継続計画)対応としてグループ内の中国工場の生産の一部製品移管を実施中。年内の量産開始を予定する。

ノーブルエレクトロニクスベトナム(ハノイ近郊 ホーチミン市)は、